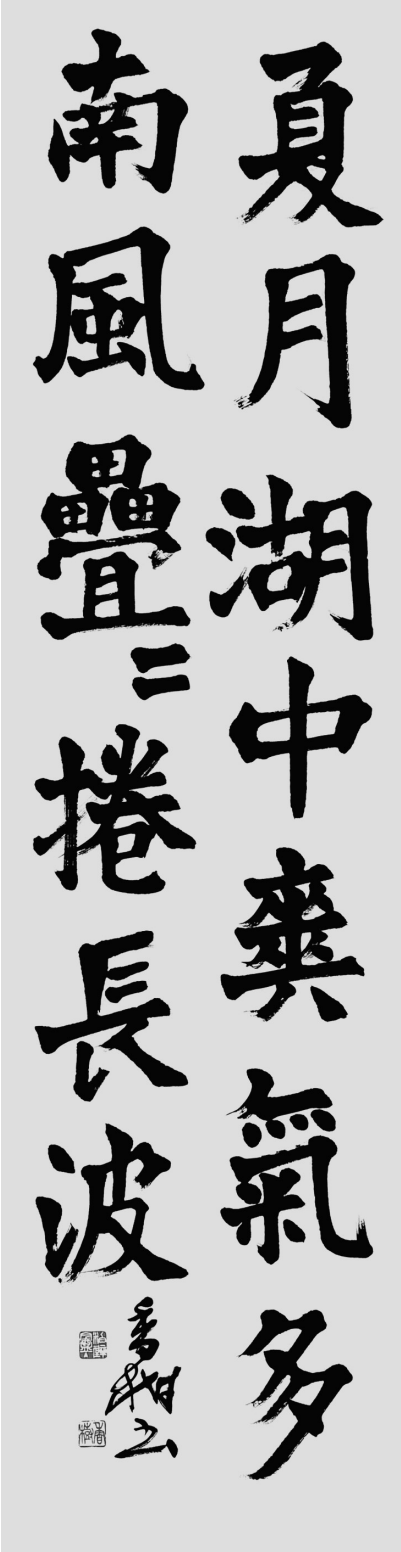
条幅部漢字課題参考　（八月二十二日締切）

A

高橋香樹先生書



夏月湖中爽氣多　南風疊疊捲長波（楊載）

夏月湖中爽（そうき）気多く、南風畳々（じょうじょう）として長波を捲（ま）く。

筆は純羊毫短峰の唐筆を使用。起・収筆・転折は六朝の楷書を意識して書す。起筆は、縦画は横から、横画は縦から入筆。横画の収筆では右下に引き抜く。転折では「亻」のように書くことにより力強さを表出。条幅部での楷書の出品は皆無に等しい状況ですが、是非挑戦して戴きたい。

B

鈴木静村書

夏の句にあやかり涼気を意識。両行七字構成とし、潤筆も瑞々しさを加味。さて掛けてみるに、何ということもなく平々凡々に尽きる。みなさんはこれにウネリを導入等、どうぞご自分らしく変容されたい。**爽氣**、字典からお気に入りの字体を借用も効果的。**々**（踊り字）改まったら失敗―。**落款**　同じ形状のみではなく、異った表出こそ〝力〟。

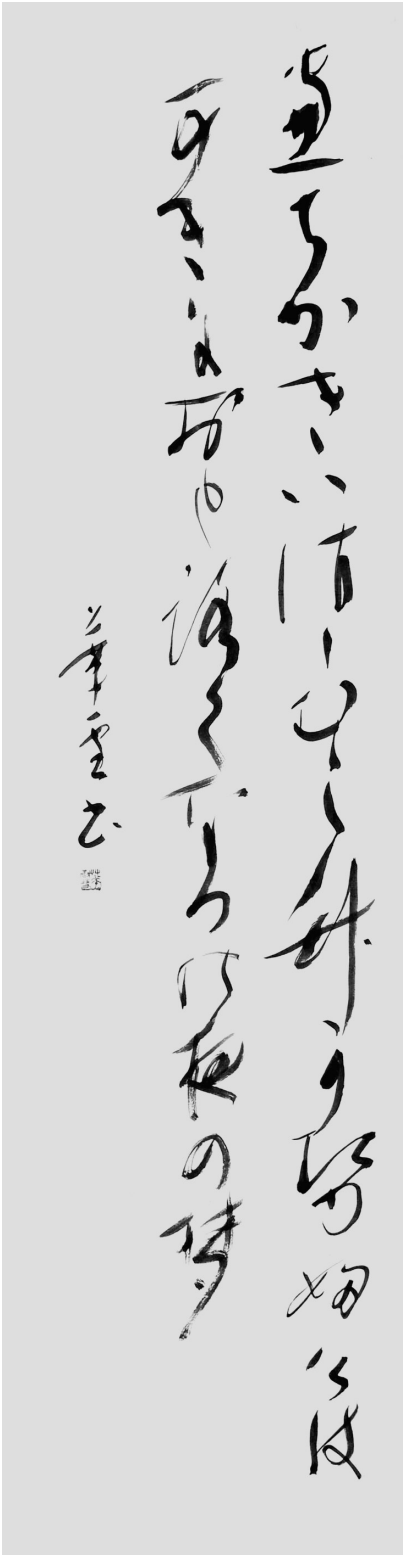
訳…夏の季節は湖にさわやかさが多く、南の風はつぎつぎと長い波を捲いている。

予告　昇試第一部漢字（九月二十二日締切）　**月色滿窓詩骨冷　露華方枕夢魂清（陳普）**

◆**注意**
- 条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条漢を〇で囲み（1）と記入する。）
- 二枚目からの出品（バーコード券の条漢を〇で囲み（　）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

条幅部かな課題参考　（八月二十二日締切）

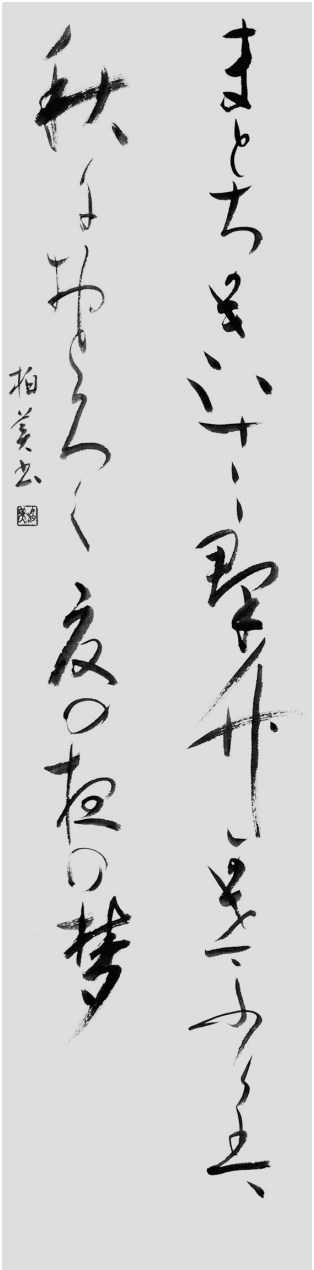
A



平岡華雪先生書

窓ちかきいさゝむら竹風ふけば秋におどろく夏の夜の夢（新古今和歌集　春宮大夫公継）
窓ちかきい佐ゝむら竹可勢婦介はあき尓おと路久なつ能夜の夢

B



石島柏美先生書

まとち可きいさゝ群竹可世ふ介盤秋尓おとろ久夏の夜の夢

前回と同じ「新古今和歌集」に収められている歌である。この歌集は後鳥羽院の院宣で藤原定家らを撰者とした鎌倉時代初期の勅撰和歌集である。歌風は、典雅優艶、華麗である。万葉集からの本歌取りも多く、この歌も大伴家持の「わがやどのいささ群竹吹く風の音のかそけきこの夕かも」から取ったものであろう。作者は藤原実定の子の公継。

学び方

竹むらに吹く涼しい風にふと秋の気配を感ずる気持ちを歌った情趣ある歌を今回は二行書にしてみました。

書き出しの「**まとち可き**」は緩やかに「**いさゝ**」は筆を立てて軽やかに書きます。「**群**」は横に広げるように「**竹**」は縦長に書くことで変化をもたせて強調します。「**可世ふ介盤**」はやゝ細線で小さめに書きます。

左行の「**秋尓おとろ久**」は渇筆でゆっくりと書きすすめ次の「**夏**」で墨継ぎします。

結句の「**夏の夜の夢**」は全体の流れを受け止めて特に「**夢**」は気持ちを込めつゝ書き収めます。二つの「**の**」は形を違えて変化を出しました。

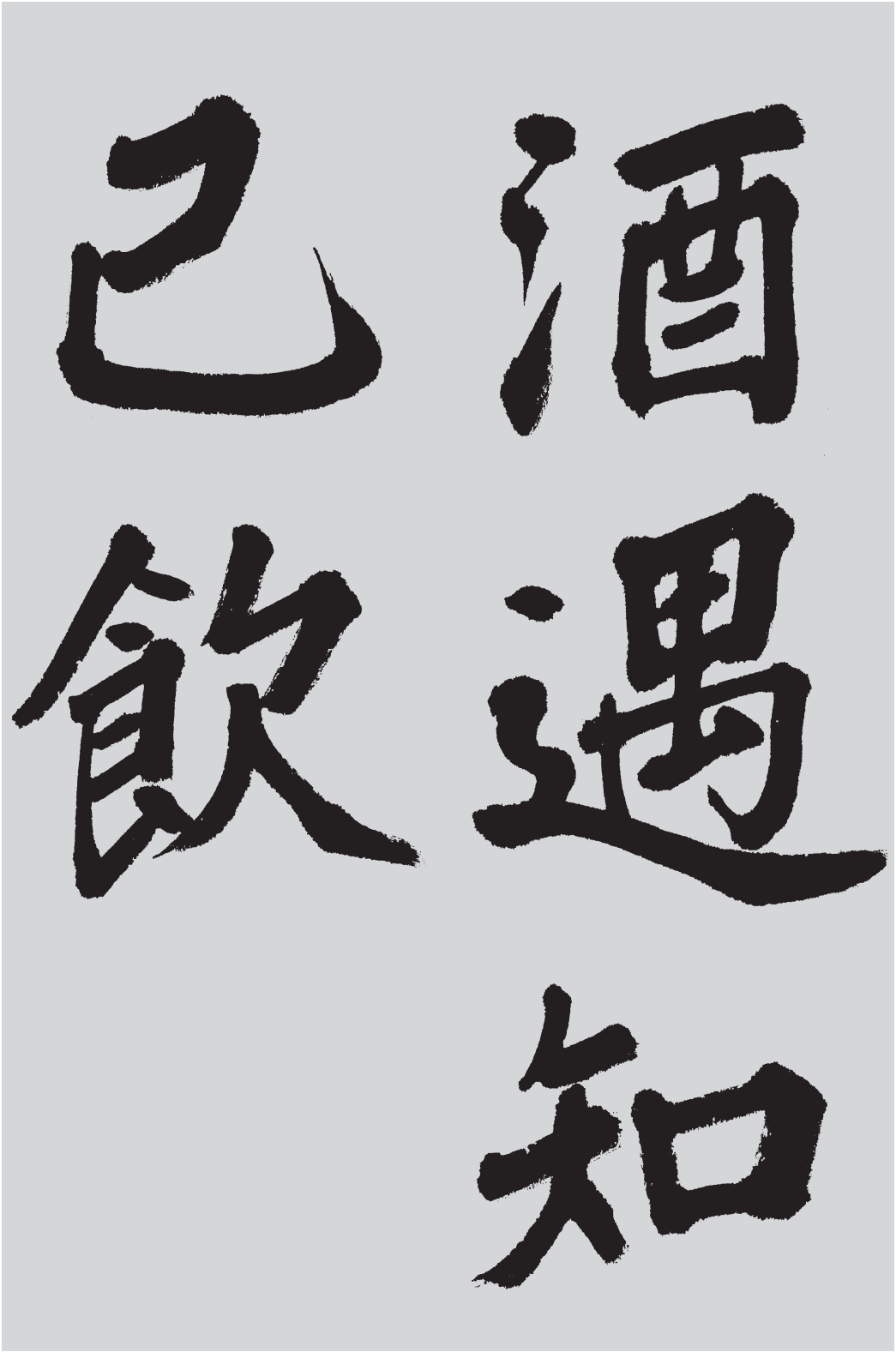
予告　昇試第一部かな（九月二十二日締切）　**東の野にかぎろひの立つ見えてかへり見すれば月かたぶきぬ（万葉集）**

◆注　意
- 条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条かを○で囲み（1）と記入する。）
- 二枚目からの出品（バーコード券の条かを○で囲み（　）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

漢字部課題参考　（八月二十二日締切）

平岡華雪先生書

酒は知己に遇って飲む（中峯広録）

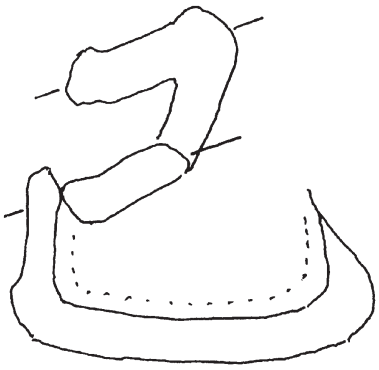


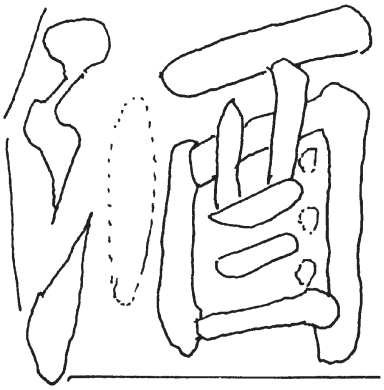
訳…知音（自分を知ってくれる人）にあらざれば語らずの意。

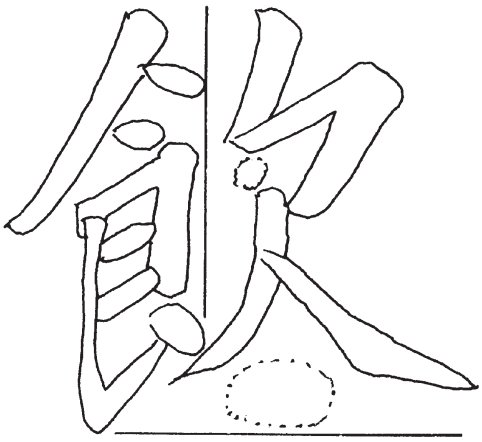
▼**注意**……はじめて出品される方は私製の紙（3×4㎝位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

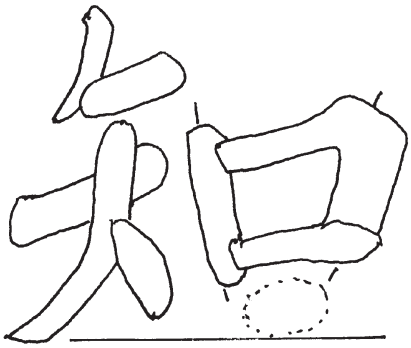
①漢字部　②支部名または都道府県名　③氏名または雅号　④新　　会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

漢字部課題参考　解説　鈴木静村





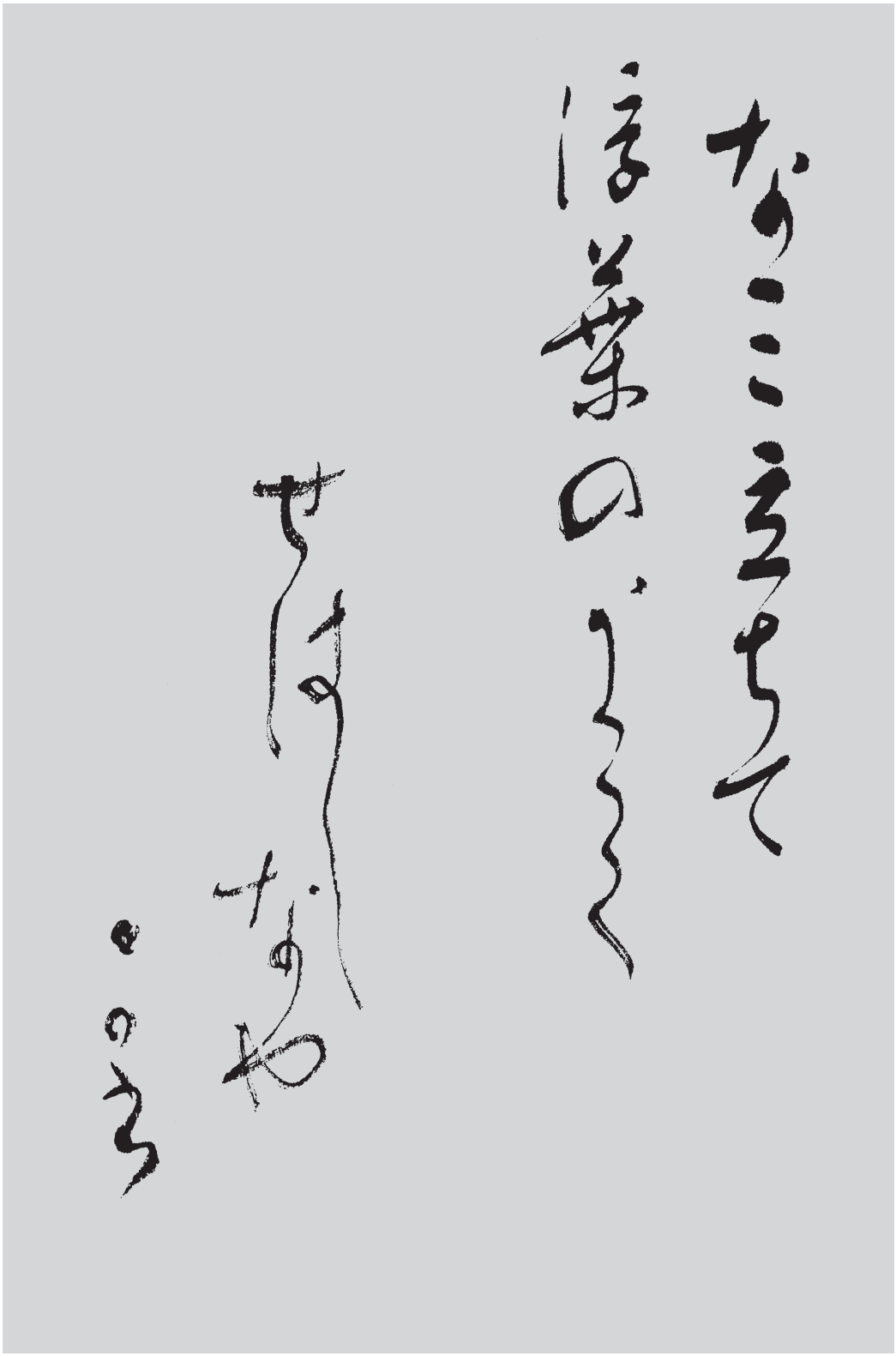




台行が勝負

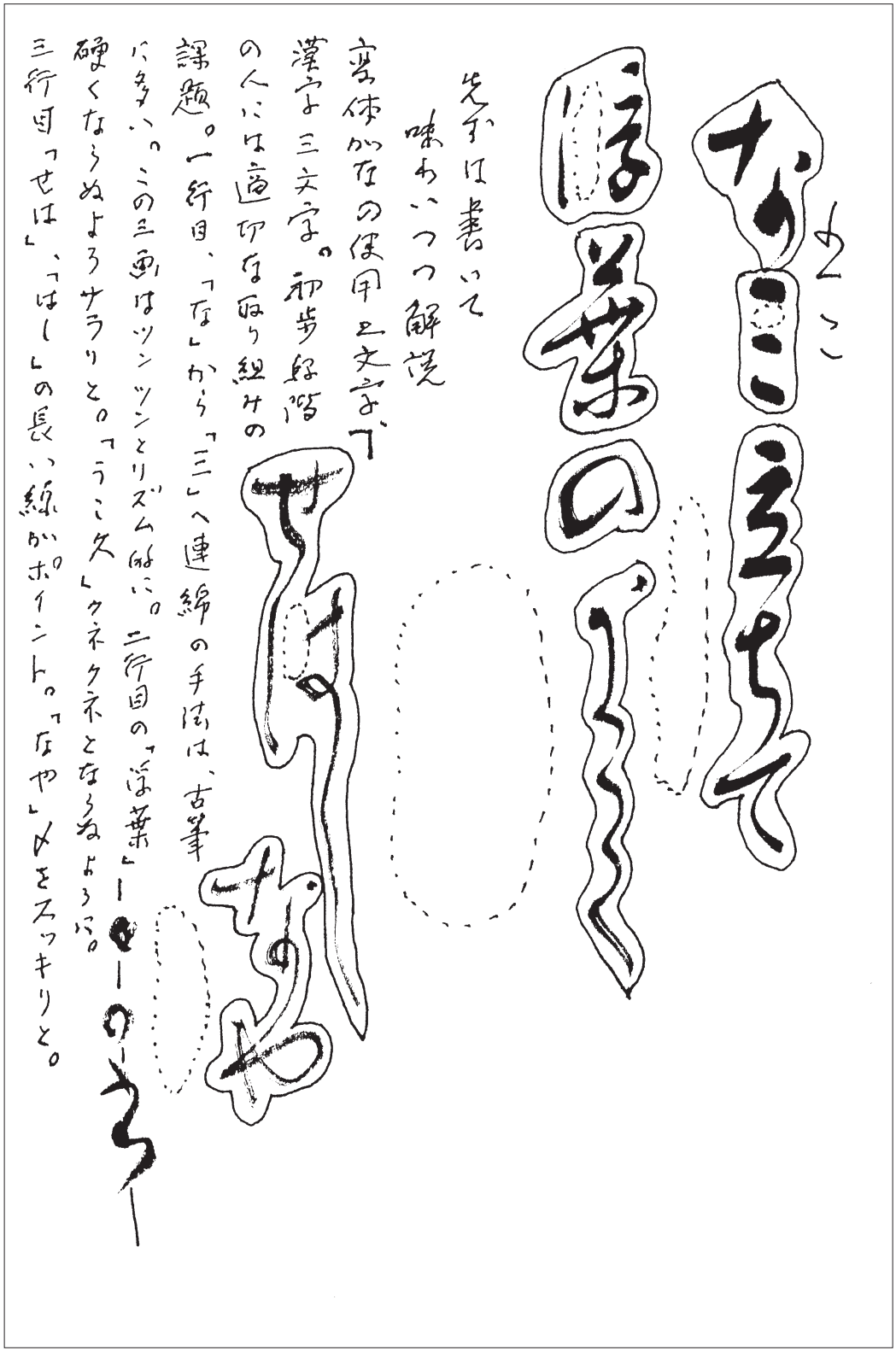
台行の布置がポイント。
「遇」の之繞(しんにょう)さのびやかに、
台匹からのハミ出しは不可。
三字の字間ルよく、中心が
整っていること。しかも、
線が活き活きであること。

平岡華雪先生書



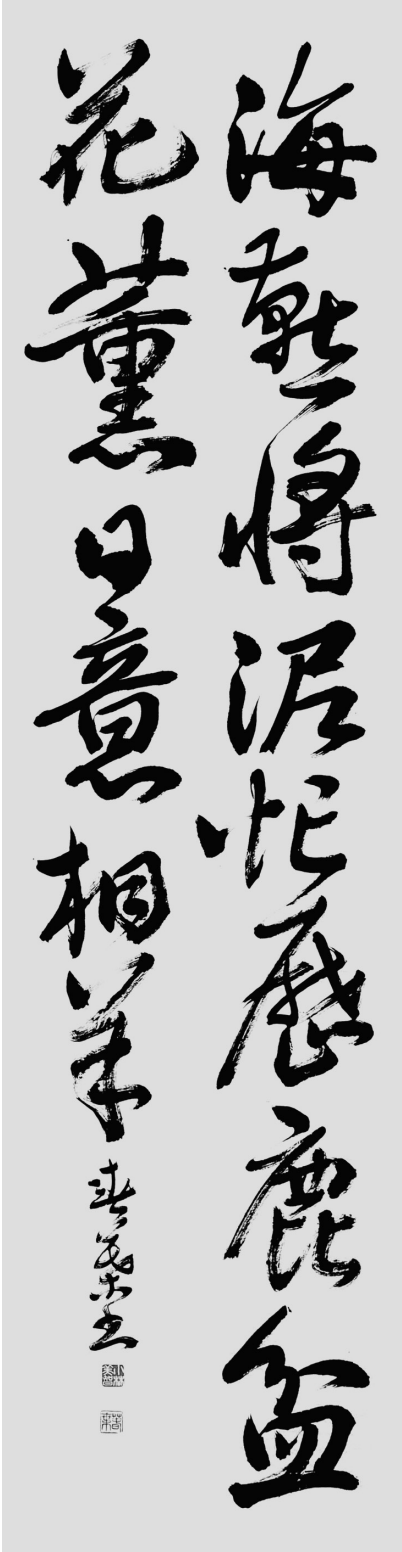
波立ちて浮葉の動くせはしなや（虚子）

予告　昇試第二部かな（九月二十二日締切）　夏の夜のふすかとすればほとゝぎすなくひとこゑに明くるしのゝめ（古今和歌集）


先ずは書いて
味わいつつ解説
変体かなの使用と文字、
漢字よ三文字。初歩段階
の人には適切な取り組みの
課題。一行目、「な」から「三」へ連綿の手法は、古筆
に多い。この三画はツンツンとリズムがいい。二行目の「ぼ葉」
硬くならぬようサラリと。「うこ久」クネクネとならぬように。
三行目「せは」、「はし」の長い線がポイント。「なや」をスッキリと。

条　幅　部　随　意　参　考

小林春葉先生書



海燕將泥忙麀鹿　盆花薫日意相羊（鈕樵）
海燕将に泥せんとして忙麀鹿、盆花日に薫じ意相羊。

訳…海辺の燕が巣を造るために泥をくわえて多忙であるが、鉢植えの花は日光に香りを発して人に徘徊を勧めるふぜいである。

向山朴花先生書

夕立の雲もとまらぬ夏の日のかたぶく山にひぐらしの声（新古今和歌集　式子内親王）
夕立の雲も登万らぬ夏の日能可多婦久山二飛具らしの聲

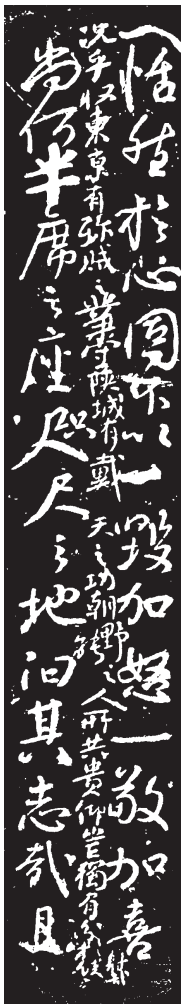
◆注 意　・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（　）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

条幅臨書部課題

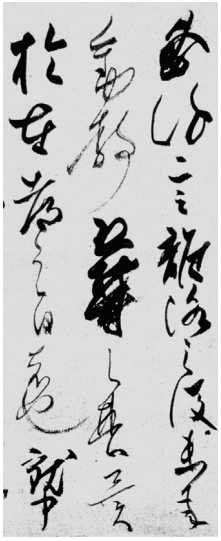
北沢博舟先生担当　**争坐位文稿　唐　顔真卿**　（七〇九―七八六）

※条幅臨書部は出品料無料です。

尚何半席之座。咫尺之地。　尚お何ぞ半席の座、咫尺の地に　形式―半切タテ一行書　落款左行へ調和よく「〇〇臨」と書き入れる



離洛帖　平安時代　藤原佐理（九四四―九九八）九九一年

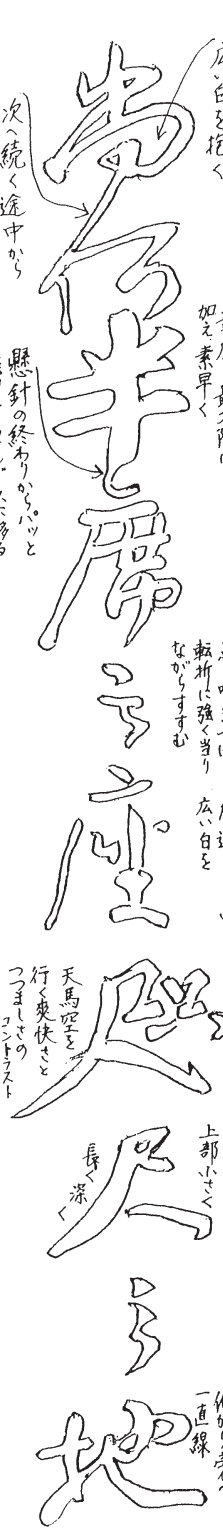


「ご参考まで」

原帖にみられる「書き込み部分」に注目してみて下さい。行と行との間に、巧みにしかも自然体に書かれています。この書き込みのところも含めて〝草稿〟が千有余年を経た今日もなおその生命力が伝わり、私達の手本になるということで全く驚異と言えましょう。

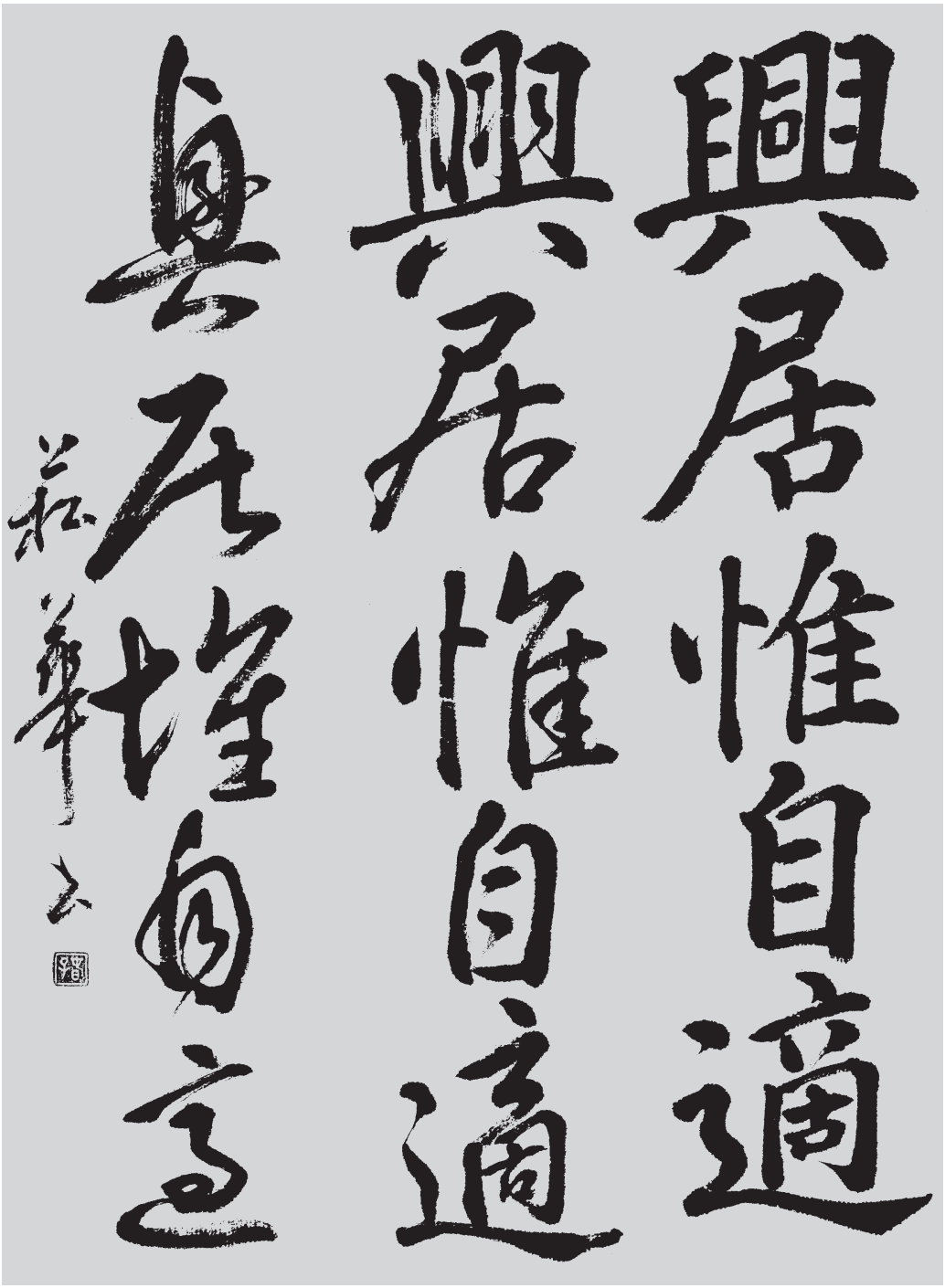
初めて見た人は、この字が手本になるのかとびっくりするかもしれません。しかし見れば見るほどよい字です。小さい字ですがスケールが大きく力強いのです。気楽に書いた草稿が手本になるとは、何とすばらしいことだと思いませんか。

ところで、別に掲げた「離洛帖（りらくじょう）」（藤原佐理）、佐理は〝三蹟〟の中でも、最も中国風に近く筆力が強く、自由奔放の用筆で「争座位文稿」と似ている作といわれています。私も好きなものの一つです。みなさまも一度習ってみてはいかがでしょう。



小暮菘華先生書

興居惟自適（盧摯）
興居惟自適。　訳…起きても寝ても只自分の意に適する所を適として楽しむ。



予告　昇試第二部漢字（九月二十二日締切）　**恬然樂吾眞（漢王煦）**

1．随意部参考として出品してください。　2．会員外の出品料は400円。

望月六華先生書

愛幽棲（李祁）
幽棲（ゆうせい）を愛（あい）す。

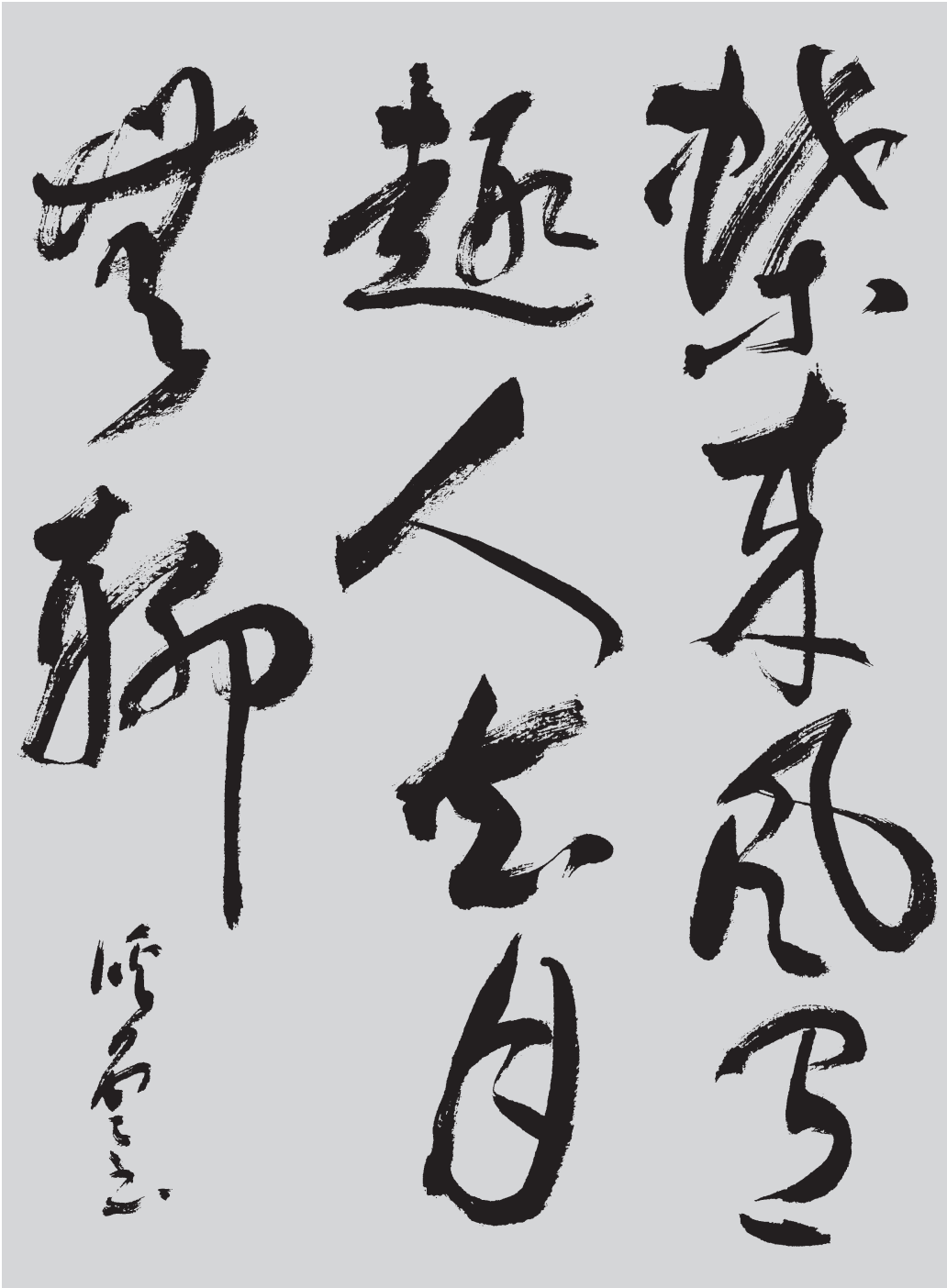
訳…静かな住居をよろこぶ。

◆随意部参考として出品してください。

神野溪雲先生書

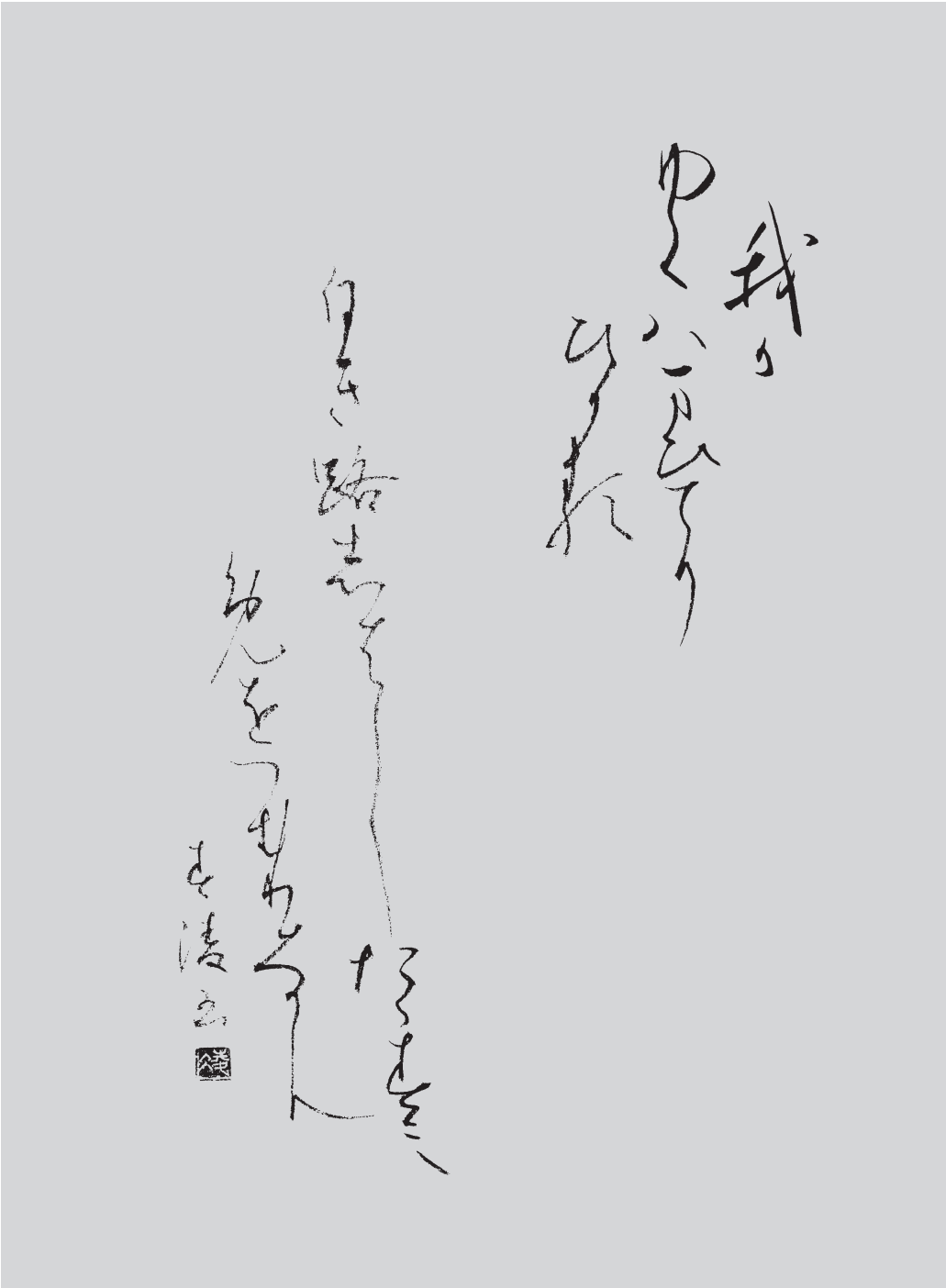
蝶來風有趣　人去月無聊（趙仁叔）

蝶来り風に趣有り、人去って月に聊無し。



訳…蝶がひらひらと飛び来り風におもむきがあるが、人がかえり去っては月に興味はない。

添削又は手本希望者は本会規定により、神野溪雲先生（〒204-0004　清瀬市野塩５－205－５）に直接お申し込みください。



武井春凌先生書

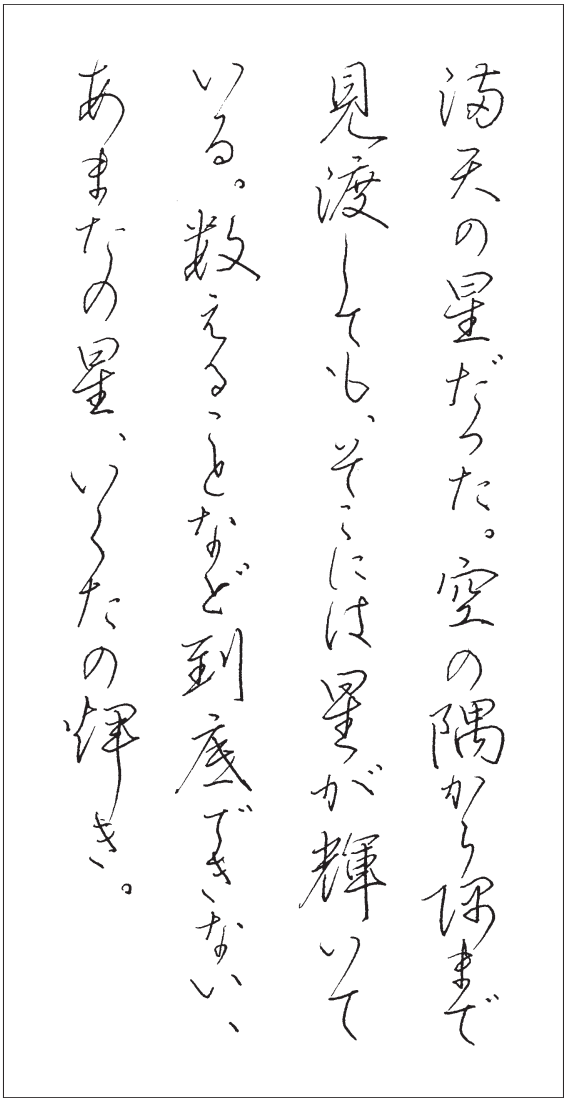
我が行くは真日照りひかる白き路しばし佇み眼をつむりなむ（窪田空穂）
我可ゆく八万ひてりひ可類白き路志者したゝ春三免をつむ利奈无

添削又は手本希望者は本会規定により、武井春凌先生（〒370-3103　高崎市箕郷町下芝385－６）に直接お申し込みください。

硬筆部課題参考　（八月二十二日締切）

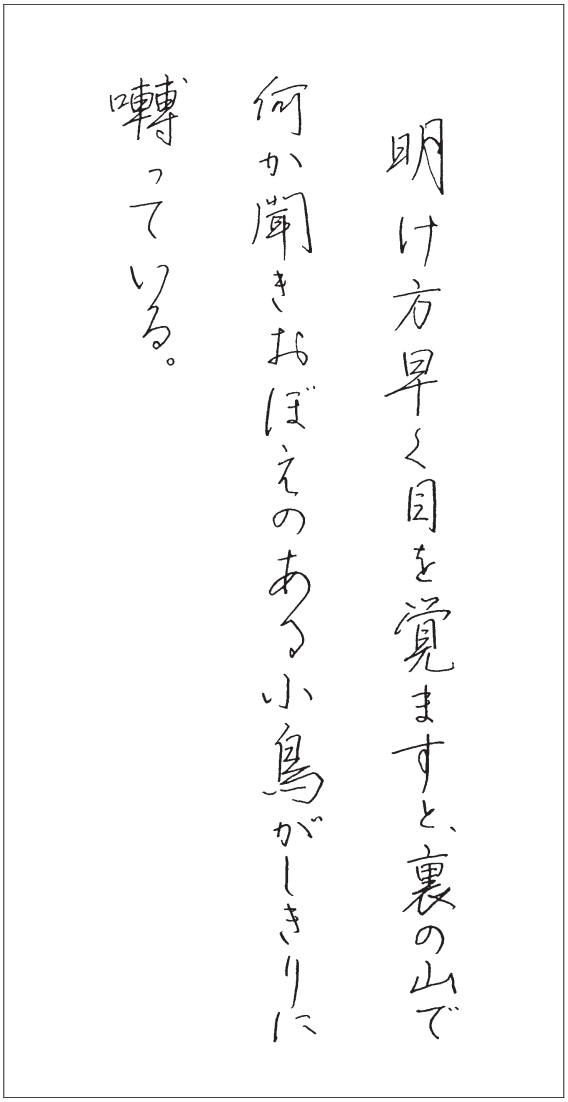
路川千曄先生書

課題1（初段以上）



湯澤春翠先生書

課題2（初段格以下）



課題1（初段以上）

満天の星だった。空の隅から隅まで見渡しても、そこには星が輝いている。数えることなど到底できない、あまたの星、いくたの輝き。

「サマー・バレンタイン」唯川　恵

◆注意

(1) 自分の段級に合った課題を選択。

(2) ペンまたはボールペン（黒色）を使用のこと。青インクは不可。

(3) 段級欄は本人が記入（色は黒）

(4) はじめて出品される方は私製の紙（3×4㎝位に）次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新

(5) 会員は無料・会員外は四〇〇円

(6) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。（返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと。）

課題1　六〇〇円

課題2　三〇〇円

課題1　路川千曄先生　〒二〇七―〇〇一三
東大和市向原五ノ一〇九一ノ四

課題2　湯澤春翠先生　〒三七一―〇〇一六
前橋市城東町一―二九―五

課題2（初段格以下）

明け方早く目を覚ますと、裏の山で何か聞きおぼえのある小鳥がしきりに囀（さえず）っている。

「晩夏」堀　辰雄